

# JavaScript研修

jQuery編

## 15. 診断ゲームを作る

## 15. 診断ゲームを作る

質問に対してYesとNoで答える診断ゲームを作成します



ポイント

- ・Yes・Noのフローを考える
- ・質問を切り替えるには
- ・結果を表示するには

## 15. 診断ゲームを作る

### 素材の作成

素材は画像としても、テキストとしてもOKです。

ここではUIを考慮し、画像を使用します。

サンプルで使用する素材のダウンロードはこちら

#### ●素材の中身

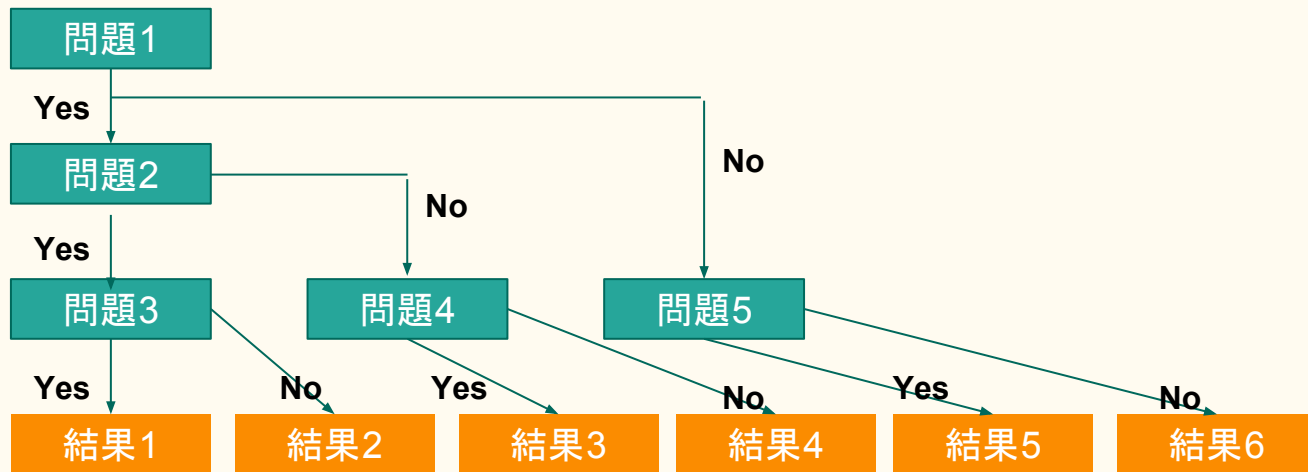
見出し画像、Yes/Noの選択画像、結果ページ(1～6まで)

## 15. 診断ゲームを作る

### 問題の構成を考える

問題から結果までのフローをツリー状で考える。

例：



## 15. 診断ゲームを作る

### HTMLの構造とCSS



全体の枠です

タイトルも画像で表示

問題を答え方によって切り替え、  
その結果を表示します

問題第一問目以外はすべて CSS  
で非表示にしておきます

## 15. 診断ゲームを作る

### HTML

問題のひとグループ

```
<div id="q_01" class="qa">
```

```
<p>問題 1 </p>
```

問題のテキスト(内容)

```
<ul>
```

```
<li>
```

```
<a class="btn" href="#q_02"></a>
```

```
</li>
```

```
<li>
```

```
<a class="btn" href="#q_05"></a>
```

```
</li>
```

```
</ul>
```

```
</div>
```

Yesのボタン(クリック先を  
hrefで指定)

Noのボタン(クリック先を hrefで  
指定)

## 15. 診断ゲームを作る

### JavaScript

```
$(function () {  
    $( 1 ).click(function() { 2  
        $( 3 ). 4 ( 5 ).css( 6 , 7 );  
        id = $( 8 ). 9 ( 10 );  
        $(id). 11 ( 12 ).css( 13 , 14 );  
    });  
});
```

## 15. 診断ゲームを作る

- JSを発生させるタイミング → Yes / No がクリックされたとき
- どんな風に変えるか？ → 次の問題へ進むか、結果を表示する
- 具体的には？ →
  - ・btnがクリックされたら、その問題グループを非表示に
  - ・選択されたリンク先<href>の中身グループを表示



## 15. 診断ゲームを作る

### 「親」、「子」要素の取得方法

●**.parent()** 指定した要素から最も近い親

●**.parents()** 指定した要素の親、先祖すべて

●**.closest(セレクト)** 指定した要素からみた、セレクトに合致する最も近い親

#### (例)こんなHTMLの場合

```
<div id="granpa">  
  <p id="father">  
    <p id="me"></p>  
  </p>  
</div>
```

#### jQuery

```
$( '#me' ).parent().....father  
$( '#me' ).parents().....father, granpa  
$( '#me' ).closest( 'p' ).....father  
$( '#me' ).parent( 'div' ).....granpa
```

## 15. 診断ゲームを作る

### ●<a>タグのhref属性を使ったページ遷移

あまり親しくない同性と話すのも緊張する。

YES



NO

